

人権集会 ～いじめや差別を考える～

10日(金)の人権集会では、学級代表の9人の児童が人権作文を発表してくれました。自分のつらかった思いや、そのつらさを跳ね返した経験等を、全児童の前で発表するので、かなりの勇気やいじめや差別を許さないという強い気持ちが必要です。その思いが、聞いている児童に伝わり、返しの言葉を発表してくれる児童もたくさんいました。いじめや差別は、子供たちだけの問題ではありません。私たち大人も改めて自分を見つめ直す必要があると思いました。



読み聞かせ活動

「読み聞かせ活動」は、コロナ禍のためこれまで実施を見合わせてきましたが、10日(金)に1回目を実施しました。当日は、PTAの読み聞かせ部の方を中心に9人のお母さん方にお世話になりました。半数以上の方にとっては初めての経験で、「緊張した。」と言われていましたが、子供たちの気持ちをしっかりと捕まえておられました。子供たちもとても嬉しそうでした。次の機会を楽しんでいます。



季節の流れ

これは、図書室前の二十四節気を紹介する掲示板です。二十四節気は、今でも立春、春分、夏至など、季節を表す言葉として用いられています。1年を春夏秋冬の4つの季節に分け、さらにそれぞれを6つに分けたものです。7日は「大雪」(雪がいよいよ降りつもってくるころ)でした。次は、22日の冬至になります。昼間は温かい日が続いていますが、時折見ていると季節の流れを感じます。



「人権の花」運動パート2

6日(月)に風船に付けて飛ばした花の種を受け取られた方から、お電話やお手紙をいただいています。とてもありがたいことです。その中から、熊本市北区の方から4年生の児童へ届いたはがきを紹介します。

マリーゴールドの種が沢山入ったメッセージを見つけました。お花が大好きなので嬉しいです。全部植えて、花が咲くのを楽しみにしています。メッセージを見つけて、何かいいことが起こりそうな幸せな気持ちになりました。ありがとうございました。

